



# 金井高校だより

平成 28 年度 12 月号

神奈川県立金井高等学校

045(852)4721(代)

平成 28 年 11 月 29 日 (火)



校 長 富樫由里子

立冬頃から急に冷え込むようになり、校内のモミジが真っ赤に色づいています。今年もあと約 1 ヶ月。「今年の〇〇大賞」「〇〇ベスト 10」という催しも目に付くようになり、1 年を振り返る時期になりました。

年の瀬で気になるのが片づけや大掃除。この時期にいつも思い出すのは、かつて家庭科の授業を担当していたある先生の「家の中をきれいに保つコツは、使ったものを必ず元の場所に戻すこと」という言葉です。以前お世話になった別の先生は、出張等の出先でもらった資料はその場で不要なものを処分し、必要なものだけを分類してから持ち帰っていました。あとは学校に戻ってキャビネットにしまうだけ。適切に分類し、名付け、管理し、必要に応じて更新する。なかなか真似できることではありませんが見習いたいものです。

自分が何を持ち、何を持たないかを把握していることはもちろん大事ですが、それ以上に大切なのは、自分が何を知っていて何を知らないか、そして何がわかっていないかを自覚することでしょう。とりわけ、わからないことに自覚的であるのは非常に重要ではないでしょうか。人はともすると、わかったつもりになる。名付けられた名前を耳にするだけで、知った気になる。でも言葉は世界を分節する、私たちの認識の土台であるはずで。名付けられた「入れ物」を手に入れただけで安心することなく、常に「なぜ？」を発しつつ、自らが納得する、経験に裏付けられた持ち重りのする言葉を持ちたいものだと思います。

さて、10月に続き11月も多くの行事等で生徒が活躍しました。ほんの一部ですがご紹介します。

生徒会役員	横浜中地区交通安全高校生・PTA大会で発表
弓道部	全国選抜大会県予選会で女子団体5位
バドミントン部	男子団体及び男子シングルスで県新人大会出場
吹奏楽部	全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜に出場
図書委員会	戸塚区高校生読書活動発表会に参加 ビブリオバトルでチャンプ本に選出



栄区民まつりに出演したチアリーディング部

12 月にもコンクールや発表会、新人大会等が開催されますが、それを目標に生徒は熱心に活動しています。それぞれが実力を発揮し、納得のいく結果につながることを期待します。

さて、今年の 7 月 26 日、障害者支援施設である県立津久井やまゆり園で 19 人が死亡し、27 人が負傷するという大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、ともに生きる社会の実現を目指し、神奈川県ではこのたび「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。本校においても、生徒のいのちを大切にすることを育む教育の一層の推進に取り組んでまいります。

ともに生きる社会かながわ憲章 ～この悲しみを力に、ともに生きる社会を実現します～

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

欠席等の電話連絡は各学年へお願いします

1 学年 045-852-4716

2 学年 045-852-4718

3 学年 045-852-4719

